



いのちの実り in 幕張メッセ

◇◇働く障害者の創作物◇◇

自由。まっすぐ。無限の広がり。

何にも似ていない。ただ創った人の心が、そこに“かたち”になっている。

出会った瞬間に、私たちがこれまでの人生で培ってきた、自分の価値観や美意識がすっきりひっくり返されてしまう。

障がいのある人の創作物は、そもそも他人からの評価を考えていない。常に「比較」され、「答え」を出すことが求められる社会の習わしから全く自由なのである。自分の思ったものを思うがままに創っている。だから、他の何かとの比較ではない魂がそこに在る。それは今まで想像もしなかった世界を引き連れてストレートに私たちの心に飛び込んで来る。

えもいわれぬ不思議さ、心の芯を熱くし全身がほかほかしてくる暖かさ、果て知れぬ広がりの前に思わずたじろぐ。

それを手にしたとき沸き上がった感動は、自分の今までの生き方について振り返らせないではおかない。

「効率」、「合理性」など今まで生きていくために必要だと信じてきた価値観からひとたび解き放され、個別性・多様性の世界は共感によるつながりの豊かさ、つまり共生社会の姿まで予感させる。障がいのある人の創ったものは、ほんのちっぽけなものに実は抱えきれないほどの大きな世界がこもっているんだ。

出展事業所

いんば学舎・オソロク倶楽部 (印西市)

生活工房 (成田市)

石陶房 (船橋市)

袖ヶ浦ひかりの学園 (袖ヶ浦市)

まあるい広場 (千葉市)